

10月 14-20日

詩編 96-99編

[66番の歌](#)と祈り | 開会の言葉 (1分) 大谷 優志 | 有川 聖七

神の言葉の宝

1. 「良い知らせを……広めよ」 (10分) 浮田 蒼

良い知らせについて他の人々に話す。 ([詩 96:2](#)。 [塔 11 3/1 6 ページ 1-2 節](#))

裁きの日に関する良い知らせを伝える。 ([詩 96:12, 13](#)。 [塔 12 9/1 16 ページ 1 節](#))

神の名を賛美する人たちで地球を満たすというエホバの目的について知らせる。 ([詩 99:1-3](#)。 [塔 12 9/15 12 ページ 18-19 節](#))



2. 宝石を探し出す (10分) 水品 安章

[詩 96:1](#) エホバに新しい歌を歌え。 地上の全ての人たち、エホバに向かって歌え。

聖書に「新しい歌」という表現が出てくる場合、たいていどんな意味があるか。

([洞-1 281 *** 歌 ***](#)) 「新しい歌」に言及している箇所は「詩編」のみならず、イザヤや使徒ヨハネの書いたものの中にも出てきます。 ([詩 33:3; 40:3; 96:1; 98:1; 144:9; 149:1](#); [イザ 42:10; 啓 5:9; 14:3](#)) この「新しい歌」という表現が出て来る箇所の前後の文脈を調べてみると、そのような歌は大抵、エホバがご自分の宇宙主権を行使される過程で物事が新たな展開を遂げるゆえに歌われるということが分かります。 [詩編 96 編 10 節](#)では、喜びにあふれた作者が、「エホバ自ら王となられた」とふれ告げています。 エホバの王権が伸長してゆく過程における物事の新たな展開、ならびに天と地にとって物事のこうした展開の意味する事柄が「新しい歌」の主題を成しているようです。 —[詩 96:11-13; 98:9; イザ 42:10, 13](#)。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

([97:11](#)) 「光が正しい人のためにきらめき、喜びが心の正直な人を照らした。」とあって、[救い](#)の音信を伝える大切な要素が喜びであることも教えてくれる。 実際に音信が示す幸福や喜びを反

映する仕方で宣教を楽しむ時、時に家の方の喜びを見る経験もできる。宣教において、もっと自分が喜び、家の方を喜ばせる方法についても探求していきたい。

3. 聖書朗読 阿部 直生

(4分) 詩 98:1-99:9 (教勵 第11課)

野外奉仕に励む

4. 献身的に: イエスの手本 米山 英行

(7分) 討議。動画を再生する。愛込 レッスン10 ポイント1-2を話し合う。

5. 献身的に: イエスに見習う 滝 秀貞

(8分) 愛込 レッスン10 ポイント3-5, 「参考になる他の聖句」に基づく討議。

クリスチャンとして生活する

9番の歌

6. 会衆の必要 「2024 統治体からの話 (6)」 (15分) 大谷 優志

7. 会衆の聖書研究 田中 慶一 朗読: 伊藤 勇一

(30分) 徹16章10-18節

閉会の言葉 (3分) | 67番の歌と祈り 吉田 忍

（詩 96:1-99:9） エホバに新しい歌を歌え。地上の全ての人たち、エホバに向かって歌え。 2 エホバに向かって歌い、神の名を賛美せよ。神による救いの良い知らせを毎日広めよ。 3 国々に神の栄光を知らせよ。全ての民に神の素晴らしい偉業を知らせよ。 4 エホバは偉大で、大いに賛美されるべき方。ほかのどんな神よりも威厳に満ちる方。 5 国々の神は皆、無価値な神。一方、エホバは天を造った方。 6 威光*と輝きに包まれている。神の聖なる所には力と美がある。 7 国々の氏族はエホバを認めよ。エホバの栄光と力を認めよ。 8 エホバをたたえよ。輝かしい名を持つ方を。供え物を持って神の庭に入れ。 9 聖なる装いをして*エホバにひれ伏せ*。地上の全ての人は神の前で震えよ。 10 国々に知らせよ。「エホバは王になった！大地はしっかりと据えられた。動かされる*ことはない。神は人々を公平に裁く*」。 11 天は喜び、地は歓喜せよ。海とそこにある全てのものは音を響かせよ。 12 野原とそこにある全てのものは喜べ。森林の木々も皆、歓声を上げよ、 13 エホバの前で。神は来る*。地上の人々を裁くために来る。神は世界*を正しく裁く。人々を誠実に裁く。

97 エホバは王になった！大地は喜べ。多くの島々は歓喜せよ。 2 雲と濃い闇が神の周りにある。正しさと公正は神の王座の土台。 3 火が神の前から出ていて、周囲の敵対者を焼き尽くす。 4 神の稻妻が地上を照らし、大地は見て、震える。 5 山々はろうのように溶ける。エホバの前、全